

平成 29 年度第 1 回（第 41 回）浜田市行財政改革推進委員会 会議録

日時 平成 29 年 7 月 13 日(木)

9 時 30 分～11 時 50 分

場所 浜田市役所（4 階）講堂

[進行／行財政改革推進課長、会長]

◆ 開会（9 時 30 分）	
行財政改革推進課長	定刻になりましたので、只今から第 41 回、本年度第 1 回目の浜田市行財政改革推進委員会を開会します。
1 あいさつ	
行財政改革推進課長	開会に当たりまして、近重副市長がご挨拶を申し上げます。
副市長	委員の皆様には、大変ご多用の中ご出席いただき、ありがとうございます。平素よりご支援、ご協力を頂いておりますことに厚くお礼申し上げます。 先週初めに大雨が降り、浜田市でも大雨特別警報が出まして、三隅、弥栄、金城を中心に、人的被害はなかったものの、市道、農道、農地、林道などで多数の被害を受けております。平成 25 年の災害では、旭、有福の方が被害を受けておりますが、同じような規模の被害を受けております。ある程度の調査は終わっておりますが、これから災害査定、災害復旧等にしっかりと取り組んでまいりますので、また色々ご協力をいただくこともあると思いますのでよろしくお願ひいたします。 本日は、正副会長選任と合わせまして、平成 28 年度の実施計画の報告と平成 29 年度の案についてご審議いただきたいと思っておりますので、忌憚の無いご意見をいただきますようお願いいたします。
〔欠席者報告、新任委員紹介〕	
行財政改革推進課長	本日の欠席者をお知らせします。下谷委員が都合により欠席です。 市職員につきましては、教育長、金城支所長、弥栄支所長、市長公室長が欠席です。代理出席としまして、産業経済部参事の代理で産業政策課長、消防長の代理で消防総務課長が出席しています。
行財政改革推進課長	ここで新任の委員 3 名を紹介させていただきます。 まず、島根県立大学講師の豊田知世様です。
豊田委員	島根県立大学の豊田と申します。よろしくお願いいたします。何かと暗い話題になりがちですが、住みよいまちづくりを進めていけたらいいなと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。
行財政改革推進課長	ありがとうございました。 次に、日本政策金融公庫浜田支店長の島口憲一郎様です。
島口委員	おはようございます。日本政策金融公庫浜田支店長の島口です。いつもお世話になっております。私は浜田に来て 2 年目ですが、この会議で勉強させていただきながら、私どもが何かお役に立てればと考えておりますので、何卒よろしくお願いいたします。

行財政改革推進課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、浜田金融会からご推薦の宮内委員の後任として、山陰合同銀行浜田支店長の田中修司様です。</p>
田中委員	<p>山陰合同銀行浜田支店の田中です。どうぞよろしくお願ひいたします。前任が山陰合同銀行浜田支店の支店長ということで、任期2年を引き継ぐことになりました。浜田の経験は6年くらいですが、私は浜田高校の野球部出身であり、色んな面からお役に立ちたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。</p>
行財政改革推進課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、前回の会議の内容と本日の協議内容を確認します。</p> <p>前回は2月6日に、委員改選後の初会議を開催しました。会議終了後には浜田市の行財政改革の取組や財政状況について説明させていただきました。</p> <p>本日は、2点の協議事項があります。</p> <p>1点目は、会長及び副会長の選任について、2点目は、行財政改革実施計画の平成28年度報告と平成29年度計画（案）についてご協議いただくこととしています。なお、本日の終了時刻は11時30分を終了と予定しています。よろしくお願ひいたします。</p>
<h2>2 協議事項</h2> <h3>(1) 会長及び副会長の選任について</h3>	
行財政改革推進課長	<p>議題に移ります。</p> <p>まずは、協議事項「(1) 会長及び副会長の選任について」です。</p> <p>選任に当たりましては、浜田市行財政改革推進委員会規則に委員の互選によるものとされております。会長1名、副会長1名を決定していただきたいと思ひます。どなたか、ご意見、ご提案がございましたらお願ひします。</p>
樫山委員	<p>識見者として委員になられている光延委員を会長に、豊田委員を副会長にお願ひしたいと思ひますが、いかがでしょうか。</p>
行財政改革推進課長	<p>ありがとうございます。ただ今、樫山委員から提案がありました。</p> <p>それでは改めて皆様にご確認いただきたいと思ひます。会長には光延委員、副会長には豊田委員ということでよろしいか、皆さんの拍手を持ってご承認いただければと思ひます。</p> <p>(拍手) ありがとうございます。</p> <p>それでは、全会一致で会長には光延委員、副会長に豊田委員ということで決定いたしました。</p> <p>光延会長と豊田副会長は席の移動をお願ひします。</p> <p>(会長・副会長が席に移動)</p> <p>ここで、光延会長、豊田副会長から、ごあいさつをいただきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。</p>

会長	<p>只今、ご指名をいただきました島根県立大学の光延と申します。まず冒頭に先週水曜日、浜田市が大雨で災害が発生し、関係各位におかれては大変ご心配であったと思います。たまたま識見者ということで責任者になりましたが、地域のご経験を積まれた皆様方がご参加ですので、せっかくの機会ですから、1回はぜひご発言いただいて、盛り上げてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
副会長	<p>島根県立大学の豊田と申します。よろしくお願いいたします。この様な会議に参加させていただくのは他市ではありますが、浜田市では初めてのため、初めてありありと財政状況を見させていただきました。心配な部分もありますし、大きく改善が必要なこともあるのかなとかねてより考えていた次第ですが、これを機会により良い街になっていったらいいなと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
行財政改革推進課長	<p>ありがとうございました。 では、ここからの進行は光延会長にお願いします。</p>
(2) 行財政改革実施計画平成 28 年度報告及び平成 29 年度計画(案) について	
会長	<p>それでは、協議事項(2)に移ります。 「行財政改革実施計画平成 28 年度報告及び平成 29 年度計画(案)」について、事務局から資料の説明をお願いします。</p>
行革推進係長	<p>それでは、「行財政改革実施計画平成 28 年度報告及び平成 29 年度計画(案)【暫定版】」について説明させていただきます。 (資料の見方、主な項目について説明)</p>
行財政改革推進課長	<p>続きまして、資料 1 と資料 2 について説明させていただきます。 まずは資料 1 の委員の皆様から事前に頂いたご意見や質問について、お答えさせていただきます。 「1 取組項目」の「1-(1)-3 タブレット端末の活用」について、議会事務局長からお答えいたします。</p>
議会事務局長	<p>最初の質問について、58 台導入につきましては議会側から提案しているものです。議員 24 名、市議会の本会議に出席する執行部、それと議会事務局職員を含めて 58 台を想定しています。資料 1 の意見等書かれていますように、議案等の印刷も非常に大変ですが、3 月議会では、議員も 10cm 以上の分厚い資料を持って帰ったり、持ってきたりされています。これがタブレットで見られるようになると議員にとっても非常に楽になりますし、執行部も手間等が少なくなるということで提案しています。配布先は議員と執行部の予定です。 2 番目は、職員全員に配布して業務の効率化を図ってはどうかということですが、市の職員は、1 人 1 台デスクトップ型のパソコンを持っています。以前に比べて色々な部分でデジタル化が進んでおり、今のところ、全職員に 1 人 1 台ずつタブレットを配布することは考えておりません。</p>

行財政改革推進課長	<p>続きまして、「1-(1)-16 高速道路利用料金の削減」について、私の方から説明いたします。</p> <p>こちらにつきましては、職員が広島方面へ出張する際には通常浜田 IC から乗るところを、金城スマート IC から乗ることで料金が安くなります。これによりできるだけ高速道路料金の削減をしていこうという取組をしています。</p>
行財政改革推進課長	<p>続きまして、「1-(1)-27 廃プラスチックの焼却による減容器の廃止」について、市民生活部長からお答えします。</p>
市民生活部長	<p>プラスチック類の焼却による環境への影響ですが、廃プラスチックを燃焼する施設は、江津市波子にあるエコクリーンセンターです。この施設は平成 18 年に完成した高温ガス化直接熔融炉という炉で、廃プラスチック類を燃焼してもクリーンな排ガスしか出ない施設です。廃プラの燃焼については平成 28 年度から廃プラを混ぜて燃焼実験をし、ダイオキシン類を始めとした環境基準値をクリアしているか測定してきました。その結果、1 年を通じて国の基準はもとよりその基準より何倍も厳しい自主基準もクリアしてきている結果となっています。更に、廃プラスチックを混ぜて燃焼することによって、より燃焼効率が上がりまして、ダイオキシン類の発生を抑制する方向に働いているというのが実情です。</p> <p>従って、プラスチック類の焼却による環境への影響はより少なくなるものと考えております。引き続き平成 29 年度も燃焼実験により環境基準をクリアしているかどうか見届けたいと思っている現状です。</p>
行財政改革推進課長	<p>続きまして、「1-(2)-2 ひゃこるネットみすみの効率的運営」について、総務部長からお答えします。</p>
総務部長	<p>ご意見をいただいておりますように三隅自治区だけの問題ではなく、浜田市全体の問題だと捉えています。ケーブルテレビはテレビの難視聴の解消や行政情報の提供など皆さんの住民生活の向上に資するというで運営しています。しかしながら、三隅自治区だけは合併前から三隅町が、行政として直接運営し、三隅以外の自治区は江津市も含めて民間のケーブルテレビ会社が運営しています。行財政改革の立場からも効率的に運営するため、当初は 2 つを 1 つに統合することを考えていましたが、やり方も違い統合は難しいということで、指定管理による管理が可能ではないかということで目標を掲げています。</p> <p>三隅自治区において直営で運営しているひゃこるネットですので、まずは影響の大きい三隅自治区の皆さんにご意向をしっかりと伺って、それから浜田市全体の意見を伺いたいと思っております。</p>
行財政改革推進課長	<p>続きまして、「1-(2)-8 市民、地域との連携強化（地区まちづくり推進委員会の設立推進）」について、地域政策部長がお答えいたします。</p>

<p>地域政策部長</p>	<p>行財政改革の項目に、この地区まちづくり推進委員会の設立が挙げられていることに違和感があるかと思いますが、これからは公共による色々な援助だけでなく、町内会等による共助の仕組みが大事だと思っています。そういう意味で入れている項目です。</p> <p>この組織率 66%という現状ですが、やはりもっと上げていかなければならないと認識しています。浜田自治区以外では、まちづくり推進委員会が 100%設立されています。ただ、浜田自治区の市街地、中でも浜田地区が 10%という状況で、中心市街地になるほど隣の人の顔が見えるまちづくりのための組織づくりが難しい現状があります。その中で職員も頑張りながら、組織づくりを進めていますので、これを平成 33 年度までに 100%を目指して頑張っていきたいと思っております。</p> <p>また、組織率が上がらないのは事務局の指導が足りないのではないかのご指摘をいただきましたが、現地にも入って支援を行っております。ご相談いただいている書類の複雑なところはアドバイスをしており、更にこれからも頑張っていきたいと思っております。</p>
<p>行財政改革推進課長</p>	<p>続きまして、「2-(2)-9 ふるさと寄附の推進」について、産業経済部長からお答えします。</p>
<p>産業経済部長</p>	<p>ふるさと寄附の推進について、ハードだけではなくて、未来ある子どもたちに使ってもらいたいというご意見ですが、ふるさと寄附の用途につきましては、寄附される際に、石見神楽等の伝統芸能の継承、高齢者福祉、青少年の健全育成などの政策メニューの中から選んで指定していただいております。</p> <p>活用事業については、ハード、ソフトに限らず、副市長が会長を務めますふるさと寄附用途検討委員会で政策メニューに合致する事業を検討し選定しております。寄附者の意向に沿った、しかも、これまで財源の関係でできなかった事業や、寄附者の共感が得られるようなハード、ソフト事業に充てていきたいと思っております。</p>

<p>行財政改革推進課長</p>	<p>次に大きな2番の「取組に係る導入費用」につきましては全般的な部分ですので、私の方からお答えします。</p> <p>この実施計画においては、今後の継続的な経費を「財政効果額」として計上しています。歳出部分で経常的な経費をいかに削減できるかというところに主眼を置いて作成しています。</p> <p>新たなシステムや機械設備等の導入費用につきましては、毎年の予算の中で執行していくということで、この計画には載せておりません。</p> <p>基本的には、財政効果額は維持管理経費、つまりランニングコストを削減するということで表記しています。参考として導入費用の額を載せてはどうかというご意見ですが、その額を参考として載せることができない項目もあるかと思えます。といいますのも、中には額が確定していないものもありますし、掲載することによって誤解を招く場合もあるかと思っております。</p> <p>一例として、計画書23ページをご覧ください。1-(1)-19「投票所の見直し」という項目です。平成28年度で見直しが終わり、終了となっておりますが、この例で説明します。</p> <p>全般的には投票所を削減する内容になっており、投票所を8か所統廃合し、その代わりに期日前の移動投票車を導入しました。</p> <p>車両導入にあたって、大きなハードの導入経費はかかっていませんが、車両に付ける啓発用マグネット板、車両の中に取り付ける記載台、そういったものが約20万円弱かかっています。こちらは毎年の予算の中で対応しております。ここでは実施計画の項目に掲げました縮減部分を効果額として計上しています。そういった形であくまでもこの計画では、ランニングコストを縮減していくということで、歳出部分に計上していますので、この導入費用につきましては掲載していません。</p>
<p>行財政改革推進課長</p>	<p>資料1の最後、「3 その他意見」については、ごもっともだと思いますので、今後の参考にさせていただき、取組等を考えていきたいと思えます。</p> <p>資料1については以上です。</p> <p>次に「資料2」をご覧ください。</p> <p>こちらは、議会自治区制度等行財政改革推進特別委員会の議員さん方から頂いたご意見です。（資料のポイントのみ説明）</p>
<p>会長</p>	<p>ただ今事務局から、平成28年度報告と平成29年度計画（案）について、説明がありました。</p> <p>それでは、10分弱ずつで4つの柱ごとに進めていきたいと思えます。皆さんお一人1回のご発言いただければと思えます。</p> <p>それでは、計画書の5ページから42ページまで、「スリムな行政の構築」から進めたいと思えます。ご意見、ご質問がございますか。</p>
<p>大谷委員</p>	<p>16ページ、「1-(1)-12 福利厚生事業の見直し」について、職員のメンタルヘルス対策としてストレスチェックをされていますが、具体的にどのような項目をされているのか内容が分かれば教えてください。</p>

人事課長	厚生労働省が示した 58 項目がありますので、それに従って項目ごとにチェックをしております。昨年の 5 月から始めて 11 月までのところで全職員を対象に実施しました。昨年度末のところ部単位で集団分析をした結果を、今、それぞれの部に説明して回っており、それぞれ問題点を指摘した上で、面接指導するということまで対応しております。
会長	他にありますか。
賀戸委員	23 ページ、「1-(1)-19 投票所の見直し」について、私は弥栄に住んでいますが、冬季の投票所について、奥の方で積雪があった場合、時間的にかなり大変だろうと思いますが、その対策はお考えでしょうか。
総務部長	投票所の見直しに伴い、期日前は移動投票車によって投票所を開設します。移動投票車の場合は、特定の場所に一定の時間に参りますので、皆さんに投票していただけるよう、その辺りを想定して除雪対応ですとか、出かけていただきやすい環境づくりをしていきたいと思っています。
会長	他にありますか。
坂東委員	7 ページ、「1-(1)-3 タブレットの端末の活用」について、来年度、58 台を購入予定とあります。多分入札だと思いますが、アフターフォローをできる業者を選んでいただけたらよいかと思います。アフターフォローできる業者と購入業者が同じであれば、結果的に経費削減になりますので、その辺りを考慮していただきたいと思いました。 29 ページ、「1-(1)-25 (国民健康保険特別会計) ジェネリック医薬品の普及」について、病院から発行される処方箋が先発医薬品であっても、薬剤師の判断でジェネリックに変更できるので、薬剤師さん側にアプローチするのも 1 つの手段かと思います。例えば、某製薬会社のホームページでは、ジェネリック医薬品お願いカードを提示したり、お願いシールをお薬ノートに予め貼ることで薬剤師さんからジェネリックを勧めてもらえるとあります。こういった浜田市版を考えてみるのもよいのではと思いました。これは要望・意見です。
会長	他に質問はありますか。
樫山委員	全体についてですが、各事業に財政効果額が明示されているけれども、費用についてはあまりよく分からないという意見が委員の方からありました。基本的に、物事を始める時はやはり費用対効果です。ここには効果として数字は出ていますが、それに対する費用が確かによく分かりません。 例として、40 ページ、「1-(1)-35 消防車両の更新時期の再検討」については、消防車の買い替えを遅らせる内容になっていますが、買い替えを遅らせれば、当然、その費用はその時には出ません。しかし、修繕費が嵩むことになります。そういう観点を(計画に)入れていただきたいと思っています。
会長	それでは副市長にお願いします。
副市長	確かに全体的に費用については、トータルで長い目で見る必要があると思いますので、できる部分があれば、検討させていただきたいと思っています。
会長	他にございますか。

<p>富金原委員</p>	<p>32 ページ、「1-(1)-28 補助金の見直しによる縮減及び廃止」が産業政策課から出ていますが、他課についても補助金はあると思います。どういう理由で産業政策課だけが出しているのかお尋ねします。</p> <p>19 ページ、「1-(1)-15 組織機構の見直し」について、平成 30 年度に部・課・係の再編を検討されており、それについて事務事業量の調査を平成 29 年度にされる予定になっています。この大規模な再編にあたって、市民の目も導入していただければよいかと思いますので、検討していただきたいと思います。</p> <p>29 ページ、「1-(1)-25 (国民健康保険特別会計) ジェネリック医薬品の普及」についてですが、先ほど他の委員さんから言われたように、私も以前から医療にかかっており、薬剤師さんに勧めていただいて助かったことがあります。対象者への通知はされているとありましたが、私ども対象者が、お医者さんへ、あるいは薬局にジェネリック医薬品に変えてほしいとはなかなか言い難いので、薬剤師から勧めていただければ、スムーズに行くのではないかと考えています。その辺りを考慮していただきたいと思います。</p>
<p>市民生活部長</p>	<p>ジェネリック医薬品の普及については、確かに浜田市の方から薬局薬剤師に直接はお願いしておりません。どちらかという医師会の方をお願いしております。医師会には厚生労働省からも通知文が届いており、診療報酬に関してもジェネリック医薬品を使った方が高くなるような仕組みになっています。ですから、今はジェネリック医薬品を指定するお医者さんが多いと思います。ジェネリック医薬品を希望するシールを健康保険証に貼って、医師に見せたり、薬局に見せたりして、なるべくジェネリック医薬品を使うような啓発活動はしておりますが、もう 1 回、委員さんからのご意見を踏まえまして、薬局薬剤師の方にそういう働きかけができるかどうか検討してみたいと思います。</p>
<p>行財政改革推進課長</p>	<p>補助金の見直しによる縮減及び廃止がなぜ産業政策課だけなのかということですが、この計画を平成 27 年度に作成する際、各課・各部で、縮減できそうな項目を出してもらったところ、結果的には産業経済部から補助金縮減の項目が出てきたところですが、産業経済部は補助事業の数が多い部であり、先ほど費用対効果という話もありましたが、定期的に見直しをかけて、リニューアルしてきている現状があります。補助事業の効果が低いものは見直すこととなります。そういった部分で産業経済部の中でも産業政策課が所管している補助事業について、できるだけ削減することになったと認識しております。</p>
<p>会長</p>	<p>他にありますか。</p>
<p>野上委員</p>	<p>30 ページ、「1-(1)-26 生ごみ処理機設置事業補助金の廃止」が、平成 28 年度に終了になっています。効果がなかったということですが、廃止に至るまでの PR 等はされたのでしょうか。生ごみの減少ということで、市の方から生ごみを減らすように言われていますが、効果はどうだったのでしょうか。</p>

市民生活部長	この補助金制度は、旧浜田市では平成 6 年度から、各自治区でも新しいところでは平成 14 年度から実施しています。生ごみ処理機の普及による減少効果を色々な数値を基にして計算したところ、0.07%、重さにして 4.5 トンでした。この減少効果に対しまして、逆に電気式の生ごみ処理機を使うことによって二酸化炭素の排出量が増加するなど、他の面で環境に大きく影響することもあります。また、補助金申請件数も、平成 21 年度は市全体で 77 件ありましたが、平成 27 年度にはその半分以下の 32 件であり、だんだん購入件数が減ってきているという状況もありました。それらを総合的に勘案して、別の手段を考えることとし、廃止決定をいたしました。
会長	他にご意見ご質問はありませんか。
三浦委員	27 ページ、「1-(1)-23 健康ポイント特典サービス事業の廃止」が、計画終了となっています。ミニデイのサービスなど、市民、特に高齢者の健康に直結するような長い目で見ないと効果が現れてこない事業が（費用）対効果ということで終わってしまっています。すぐに効果は出ないけれども、本当に将来を見越して、人口減や高齢者の健康などへのフォローにこのふるさと寄附を使っていたきたい。行革の視点からはおかしいかもしれませんが、そういう観点の説明が全然なかったなので、このポイントサービス事業の廃止にひっくるめて、ふるさと寄附をソフト事業にぜひ使っていたきたい。高齢者の運転免許証自主返納時に配布する敬老乗車券にふるさと寄附を使ったという記事が載っていました。使途を指定して寄附されるのでしょうか、ハード事業には過疎債などを使っていたいて、浜田市が主体的に教育や文化などのソフト事業に使っていたきたいと思います。
副市長	ふるさと寄附の活用については、私が長を務める使途検討委員会がありますので、今のご意見を参考にさせていただきます。ソフト事業に使わないということではなく、敬老乗車券、免許返納の場合にも使っておりますので、そういったことで、ソフトでよい事業に使える分には、しっかり使っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。
三浦委員	健康ポイント特典サービス事業は、皆さん、すごく喜んでおられたのですが、一定の効果があつたものと見込まれて、廃止になるのですね。
健康福祉部長	平成 28 年 4 月に既に廃止をしております。
会長	2 つ目の柱に移ります。「市民との協働によるまちづくり」について、個票の 43 ページから 55 ページまでで質問等があればお願いします。
野上委員	54 ページ、「1-(2)-11 古着・古布の回収・リサイクルの廃止」も終了となっています。以前、どこかの事業所で回収されるという噂がありましたが、どうなったのでしょうか。
市民生活部長	今、回収されている業者は、イズミとキヌヤがあります。イズミは不定期で実時時期が前もって分からないため広報紙で周知できませんが、新聞に広告チラシが入ります。キヌヤは事前に分かります。次は 9 月下旬にプリル店で開催されると伺っていますので、広報紙などで周知していきたいと思っております。

会長	岡本委員、いかがですか。
岡本薫委員	<p>私は浜田市の財政難から言えば、住民の不便度がこれくらいは仕方ないのかなという判断で資料を見ております。今回もそのように思っております。</p> <p>評価が庁内の内輪でされているということは、他課の批判はおそらくないでしょう。計画書の内容が分かりづらく、委員として地域の人に説明できるほどの腹入りができないというのが現状ですので、もう少し検討頂きたいと思えます。言い方は悪いかもしれませんが、もっとこの会が価値のある内容になっていったらいいなと思えます。</p>
行財政改革推進課長	貴重なご意見ありがとうございます。来年度に向けて、ご意見を踏まえてもう少し分かりやすくしたいと思います。
会長	他にはありませんか。岡本委員、いかがですか。
岡本宏委員	<p>数年前に本庁へ用事があって来た時に、背広を着た若い方が10数人おられました。後で顔見知りの職員に、何事か尋ねると、異動内示を受けに支所から本庁へ来ていたという話でした。私はすぐに本庁に電話を入れ、「なぜ一般職までわざわざ支所から本庁へ招集して内示されるのですか。辞令交付も招集するのであれば、無駄が多くはありませんか。そんなに時間があるなら、本務に専念した方がよいのではないですか。」と副市長に言いました。</p> <p>私が勤務していた団体では、東京のトップを始め広島など全国に機関があり、それぞれ発令ポストがあります。本庁に全員を招集するのはどう考えても無駄だと思いますが、今、人事発令はどうされているのでしょうか。</p>
人事課長	人事異動の1週間前に伝える内示のことだと思いますが、課長昇任時は市長から仕事の内容を説明するため、本庁へ来ていただきます。これについては本庁、支所を問わず来ていただいておりますが、それ以外の内示については、支所であれば区長、本庁であれば副市長、それぞれのところで内示を受けます。管理職のみ市長のところへ行くことになっております。
岡本宏委員	改善されたということですね。
会長	<p>ありがとうございました。次の柱に移りたいと思います。</p> <p>3つ目の柱、「公共施設マネジメント」、56ページから78ページまでについて、ご意見ご質問をお願いします。</p>
槇岡委員	<p>75ページ、「2- (1) -17 運動施設のあり方検討」についてですが、今朝の新聞に上府町のスケート場が統廃合の対象になるというふうな記事が出ておりました。</p> <p>この項目に浜田市スポーツ推進審議会がありますが、審議会ではどのようなことまでを審議されているのでしょうか。説明をお願いします。</p>
教育部長	スポーツ推進審議会では、スポーツの推進に関して重要な事項について幅広く審議をしていただきます。委員数は各種団体推薦を含めて15人以内だったと思います。

<p>槇岡委員</p>	<p>スケート場について言いますと、利用者が少ない現状であるということでしたので、統廃合ばかりでなく、スポーツ振興として利用者を増やす対策を検討されるのも審議会の仕事と関係があると思います。他のスポーツ施設についてもそうです。</p> <p>今、若い人たちが夜遅くまでスポーツに勤しんでおられます。私は金城ですが、ふれあいジムかなぎでもそうです。自分たちが運動したいからするというのも健康上よいのですが、競技大会開催等の実力発揮の場を作るなど、利用者減少対策も審議会の中でやっていけば、利用者もだんだん増えてくるのではないかと思います。審議会の内容についてもう少し掘り下げて説明いただけませんか。</p>
<p>教育部長</p>	<p>スポーツ推進審議会では、スポーツの推進に関して重要な事項を決めていただくことになっており、スポーツの推進についても審議いただいています。</p> <p>今回は、浜田市公共施設再配置計画において、市町村合併で類似施設が複数あるため、浜田市のスポーツ施設はどのようにあるべきか、ということ審議いただきました。今回の答申は、あくまでもスポーツ施設のあり方について答申を頂いたものです。今回の答申にはスポーツ施設の種類によっては整理をした方がいいという意見も出ております。また、軽スポーツも含めてスポーツの推進については進めて行っていただきたいという附帯意見がついています。決して施設を統廃合するためではなくて、スポーツの推進について審議いただくものです。</p>
<p>槇岡委員</p>	<p>1つの例ですが、江津高校では、ハンドボールで全国大会に出場していますし、他にも地域の特色あるスポーツで全国レベルの力合わせができる機会があります。浜田市はそういった面で遅れているのではないかという思いがしてなりません。浜田はこういったスポーツが盛んで強いとか、地域の特色があるようなスポーツを育てて行こうという話を、今後、審議会の中でご検討いただきたいという要望でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>次の「財政健全化の推進と自主財源の確保」について、79 ページから 93 ページまでご意見をいただきたいと思います。</p> <p>細川さん、いかがでしょうか。</p>
<p>細川委員</p>	<p>88 ページ、「2-(2)-9 ふるさと寄附の推進」です。先日の新聞報道で、現在、半分程度の返礼額を、総務省の指導もあって、10 月頃を目途に 30%くらいに見直したいという記事が出ていました。それは本当でしょうか。</p> <p>そうすると、計画の現状で返礼額が半分ということころから見直して、効果額も見直さないといけないと思いますが、お考えをお聞きしたいと思います。</p>

産業経済部長	<p>総務省より、返礼率を 30%以内にするよう全国的に指導されております。浜田市もその指導に従って、10 月以降は返礼率を 30%以内にするということで間違いありません。そうすると、寄附額が今までどおり募ることができるかどうかということだと思います。</p> <p>昨年度は 16 億円余りの寄附をいただいておりますが、返礼率が下がると、当然、ふるさと寄附に対する期待感も若干薄れてくるかと思っております。昨年、日本全体では 2,800 億円、その前年が 1,600 億円でしたが、これについて国では、まだ伸び代はあると分析しております。期待ですけれども、返礼率が下がっても、全体的に寄附される方が増えて、例年どおりの寄附がいただけるよう努力をしていきたいと思っております。どこの自治体もそうやって頑張りますので、平準化されてくることにはなりますが、今のところはこの計画に沿って進めてまいりたいと思っております。</p>
会長	玉置委員、いかがですか。
玉置委員	今回初めて取り入れられたと思いますが、配付資料に対する意見の事前受け付けをされたのは、よい方法だと思います。
行財政改革推進課長	行革の会議では、今回が初めてになります。
会長	それでは、全体を通してご意見やご質問をお願いします。
富金原委員	<p>47 ページ、「1-(2)-5 行政窓口業務の見直しの検討」についてです。目指す将来像なり取組の内容と、平成 28 年度取組にはかなり差がある気がします。取組内容には、自主的に専門部会を設置されたり、先進事例などの情報収集をするということが書かれていますが、平成 28 年度を見ても、失礼ですけれども、国等の動向について情報を収集するだけになっています。したがって、国の動きがない段階では、具体的に市として進める気がないというふうに理解をしてよいのでしょうか。</p>
行革推進係長	<p>行政窓口業務の見直しについて、今時点、浜田市では慎重な姿勢を取っているのは事実です。今、浜田市では、ワンストップサービスとしてお客様が席を動かずに、職員が出向いて色々な手続きをするような体制が取られております。</p> <p>先進地等では、例えばアウトソーシングで、臨時・嘱託職員ではなく外部に委託をして、そこが窓口業務をやるといった一歩進んだ取組をやっています。しかしながら、東京都足立区のように偽装請負という問題になったケースもあります。窓口業務の担当者が市の嘱託職員であれば、市が直接指導をしてもよいのですが、外部委託になると、市の職員が委託している窓口業務の担当者に指示命令、指導をすることができません。そういったことが行われた場合、法律に違反するというところで、全国的に問題になっているケースもあります。</p> <p>国が平成 32 年度以降に指針を策定するという方針を出していますので、それまでは色々なところで情報収集に努めることとし、その後、動いていくこととしています。そういったことから、平成 28 年度・平成 29 年度のところは、情報収集に努めているというような状態です。</p>

会長	田中委員、何かありますか。
田中委員	<p>全体を通して、将来像を実現するためということで、まちづくりについてご意見をさせていただきたいと思います。</p> <p>銀行員の立場からですが、家を建てたいという若い方が銀行窓口に来られます。昔からは考えられないかもしれませんが、今は20代のお客様のご夫妻で来られることが結構多いです。街中の方でお探しになられますが、昔、栄華を誇った栄町、新町、錦町にはこれだけ空いている場所があるのに、売っていただける場所が一つもありません。明かりもありませんし、どちらかというとなんか安全安心なまち浜田市からすると、ちょっと危ない環境になっていくのではないかとすごく危惧しております。</p> <p>若い方が都会に出ておられて、お父さん、お母さんが浜田に住んでいらっしゃるけれど、将来、若い方が帰って来る予定はないという方が一定数おられます。今、浜田市と民間とが一緒になって、協働して、その辺りをなんとかしていかなければいけないなど、とても思うところであります。</p> <p>問題点として、動かない都市計画などがあつたり、(行革によって)スリム化して抑制した財源をできればそういったまちづくりに投入して、若い人もまあのブロックの中に一人ひとり、一家で住んでいただければと考えております。</p> <p>例えば、ブロックの中の土地を整理する、皆さんにご理解いただいて換地処分するといった方法で促進すると、若い人たちが帰ってきたり、住みついたり、家族が増えたり、物を買われて税収も増えるといったことが考えられます。</p> <p>大きい項目になりましたけれども、ぜひその辺で見直しをしていかなければというふうに考えます。</p>
地域政策部長	<p>先ほどの視点について、市は住宅のマスタープランなどを策定しております、その中で若者定住住宅については項目として掲げております。ご指摘いただいたように若い人たちに、特に市街地に住んでいただきたいというばかりではなくて、実は中山間地域でも若い人たちに住んでもらいたいという意見が強くあります。そうしないと、地域が成り立っていかないという非常な危機感を持っておられます。そういう意味で若い人たちに定住していただけるような施策というのはきちんとやっていくべきだろうと考えております。ただ、具体的な手法として先ほど提案のあつた換地処分でありますとか、その辺りまではありませんが、取り組んでいかなければならない課題ということはきちんと認識しておりますので、考えていかなければいけないと思っております。</p>
会長	では、島口委員。

島口委員	<p>私は質問ではなく、財政健全化の問題に関わる全体的なことについてです。行財政改革による財政効果額がありますが、市として財政健全化に向けて赤字をこのくらい減らすとか、全体的な財政の目標額の中のどれくらいの割合を占めているのでしょうか。例えば、これくらいやったら財政健全化が大分進んでいるとか、これだけやってもまだまだやらなければいけないものなのか。そのレベル感が分かると、例えば市民の方に説明する時も納得感が得られたり、色々なサービスの改廃がある時に、納得してもらうための材料にもなりますので、そういう見せ方もあるのではないかと思います。</p>
会長	<p>8合目の辺りまで来ていればもう少しですけど、3合目だと残りが多いなとか、大事なことですね。</p>
財務部長	<p>元々は中期財政計画で将来的な赤字が見込まれるので、その代償というような数値的な目標でございます。当初（大綱策定時）は20億円という期間中の赤字解消というところで、行革効果額としては27億円を計上しておりますので、財政的な目標はクリアしており、現在更なる効果を出しています。</p>
島口委員	<p>このまま目標を達成すると一応、良いということですね。</p>
大谷委員	<p>中期財政計画の話が出たので確認させてください。予算規模と中期財政計画との中で、平成27年の中期財政計画は一本でしたが、平成28年の中期財政計画には、「推計A」と「推計B」があります。この数値はどちらを使っておられますか。また、この間の6月議会では、自然体に戻したいというような答弁がありました。今後の方向性について確認させてください。</p>
財務部長	<p>「推計B」はかなり希望的観測が強いもので、基本は「推計A」が自然体です。ですから、昨年、一昨年に出した相当に厳しい赤字が自然体です。それに対して今回の行財政改革もふるさと寄附17億円が主になっていますので、かなり希望的観測が入っておりますが、厳しい状況に変わりはないと思います。</p> <p>今年12月に出す中期財政計画ではAとBという表現はしません。自然体の形でまずは出します。それに対しての改善策という形で持続可能な財政運営をしていきたい、浜田市が元気でいられるような状態にしたいという画を描いていく。描けるかどうかは別として、それを目標として作成するつもりです。</p>
会長	<p>最後に副会長からお願いします。</p>

豊田委員	<p>全体を通してです。</p> <p>委員さんの意見にもありましたが、やはり削減プロジェクトに取り組むにあたって、イニシャルコストとランニングコストのデータもあった方がいいのかなと思いました。その事業をすることによって、増える金額と減る金額の差し引きで言われたら理解しやすいのではないかと思います。</p> <p>全体的に年度計画や実績を見ていると、事業によって、同じ年度計画と実績を書いているもAであったり、Bであったりすることがあります。個人的にはAなのに、なぜBなのかかなと思うことがよくありましたので、評価の仕方を統合していただけたら分かりやすいと思いました。</p> <p>廃止する事業で特に市民生活に関わる事業は、廃止する代わりにどのようなことを考えていくのかということを、表記された方が良いと思いました。</p> <p>また、廃止時の決定プロセスをどの様にしているのか、この場も私たち住民の意見を聞く場かもしれませんが、直接的にサービスを受けている人たちの意見をどのように集約されているのかなという点が気になったところです。</p> <p>全体として、主要事業で大きな事業が今後計画されていると思いますので、この中でも（意見が）出ましたが、ソフト面で効果があまり出ないような事業をどのように考えていくのか。災害が起こりやすくなる可能性が非常に高まっている中で、災害対策などのニーズに合わせた事業などを、（行革で事業を）減らす一方でどういうところに力を入れて行くのか、といったビジョンを分かりやすくしてもらえるとよいと思います。</p>
3 その他	
会長	<p>他にご意見、ご質問がなければ、協議事項2を終了します。</p> <p>その他に移ります。事務局から連絡等をお願いします。</p>
事務局	<p>最後に、事務連絡をさせていただきたいと思います。</p> <p>レジュメの「3 その他」、「今後の予定」として、9月4日に議会の全員協議会において「確定版」という形で報告する予定としています。</p> <p>10月～11月頃に、この推進委員会の第2回目を開催したいと考えております。「公共施設再配置実施計画」の平成29年度版（案）についてご審議いただくこととしています。内容については事前に配布できるようにしたいと考えております。</p> <p>開催日時については9月頃には調整し、ご案内させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>以上です。</p>
◆ 閉会	
会長	<p>この他、委員の皆さんから何かありますか。</p> <p>特に無いようですので、以上をもちまして浜田市行財政改革推進委員会を終了いたします。長時間にわたりご審議いただき、ありがとうございました。</p>

(午前11時50分閉会、所要時間2時間20分)